受入れ局課室名	文化庁 長官官房 政策課				
募集学校種	O 大学院 O 大学 短期大学 高等専門学校 専門学校 高等専修学校 高等学校 問わない				
受入れ期間	(Oがマークされている部分が希望学校種となります)7月 11日~ 9月 16日受入れ人数 (共記期間中で1人につき、1週間程度)1人				
受入れ条件	パソコン(一太郎、エクセルなど)の基本操作ができる方				
実習内容	政策課が担当する下記業務の補助作業(書類作成、検算など)を経験していただきます。なお、実習内容は参加者の希望等を考慮しますので、希望する業務とその理由を応募書類の所定の欄に記入してください。				
受入れ局課室紹介	政策課は、文化庁全体に係る庶務・人事・会計業務のほか、庁内各課の取りまとめ業務等を担当しています。 また、それ以外にも、文化芸術の振興に関する基本的な方針の策定や2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の文化プログラムの推進、国立近代建築資料館の運営など幅広い業務を担当しています。				
受入れ局課室からの ひと言	専門的な知識や技術は必要ありません。 政策課の業務に関心があり、意欲のある積極的な方の参加を歓迎します。				
過去の参加者の声	非常に温かく接していただき、また希望の仕事などをしっかり認識して与えていただいた。多様な方との面談や、実際の会議への出席など、現場に立ち会わせていただけたことを通じて、今後の進路選択に向けて視野が広がった。				
受入れ局課室名	文化庁 長官官房 著作権課				
募集学校種	○ 大学院 ○ 大学 短期大学 高等専門学校 専門学校 高等専修学校 市学校 問わない (○がマークされている部分が希望学校種となります)				
受入れ期間	9月2日~9月16日 (2週間) (2週間) (2週間) (3. (2週間) (4. (2週間) (5. (2週間)				
受入れ条件	著作権をはじめとする知的財産権に関心のある方 パソコンで「ワード」「エクセル」等の基本操作ができる方				
実習内容	以下に記載した著作権課の業務を一通り体験してもらう予定です。				
	以下に記載した者作権課の業務を一通り体験してもらっ予定です。 				
受入れ局課室紹介	以下に記載した者作権課の業務を一通り体験してもらっ予定です。 【著作権課の業務】 ①著作権制度の改善(著作権法の改正など) ②文化審議会著作権分科会の運営 ③著作物等の円滑な流通推進に関する業務(著作権等管理事業法の的確な運用など) ④著作権等の登録及び著作権講習会の開催等、著作権に関する普及啓発に関する業務				
受入れ局課室紹介 受入れ局課室からの ひと言	【著作権課の業務】 ①著作権制度の改善(著作権法の改正など) ②文化審議会著作権分科会の運営 ③著作物等の円滑な流通推進に関する業務(著作権等管理事業法の的確な運用など)				

受入れ局課室名	文化庁 長官官房 国際課				
募集学校種	□ 大学院 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □				
	高等専修学校 高等学校 中学校 問わない				
	(○がマークされている部分が希望学校種となります)				
受入れ期間	7月24日~8月7日 (上記期間中で1人につき、2週間程度) ・				
受入れ条件	国際著作権業務に関心を持つ方 語学力のある方(最低限英語) パソコン(ワード、エクセルなど)が使用できる方				
実習内容	国際著作権に係る補助業務 具体的な業務内容については、参加者の希望等を考慮して計画しますので、以下に記載した国際課の 業務を参考に、希望する業務とその理由を学生・生徒調査票(様式4)の「3. 希望する受入局課(室)名、 志望理由」欄または「4.希望する業務等」欄に記入してください。				
受入れ局課室紹介	【国際課の業務】 〇世界知的所有権機関(WIPO)に関する業務 〇海外における海賊版対策に関する業務 〇海外における著作権制度の動向に関する業務 〇文化審議会著作権分科会国際小委員会に関する業務				
受入れ局課室からの ひと言	国際著作権に関わる業務に関心があり、意欲のある積極的な方の参加を歓迎します!				
過去の参加者の声	文化行政についてのみならず、社会人としての心構えを教えて頂いた。普段職員の方がなされている仕事を幅広く体験させていただき、成果に対するフィードバックがもらえた。また、国立劇場や新国立劇場など 普段見ることのできない施設の裏側を見学させてもらうことができた。				
受入れ局課室名	文化庁 文化部 芸術文化課				
募集学校種	○ 大学院 ○ 大学 ○ 短期大学 高等専門学校 専門学校 高等専修学校 中学校 問わない (○がマークされている部分が希望学校種となります)				
受入れ期間	7月 11日~ 7月 22日 受入れ人数 (上記期間中で1人につき、1~2週間) 受入れ人数				
受入れ条件					
実習内容	研修期間中には課内各係の職員から業務説明を受けるとともに、職員が実際に行っている実務(書類作成、書類チェック、各種打合せ等)、関係機関の施設見学をしていただく予定です。				
受入れ局課室紹介	芸術文化課は、美術、音楽、実演芸術、メディア芸術などの振興施策や地域における文化芸術振興施策を推進しています。				
受入れ局課室からの ひと言	専門的な知識や技術は必要ありません。芸術文化課の業務に関心があり、意欲のある積極的な方の参加を歓迎します。				
過去の参加者の声	一つ一つの担当係の職員の方から各業務の説明を丁寧に受け、芸術文化課の全体像を把握することができた。また、実地見学も複数回行くことができ、現場の課題と課題への文化庁の対応方法を直に見ることができた。政策提言の機会も頂き、課題解決の難しさや仕事のやりがいを感じ、ますます文部科学省に対する憧れが増した。				

受入れ局課室名	文化庁 文化部 国語課				
募集学校種	○ 大学院 ○ 大学 ○ 短期大学 ○ 高等専門学校 ○ 専門学校 高等専修学校 高等学校 中学校 問わない (○がマークされている部分が希望学校種となります)				
受入れ期間	7月 11日~ 9月 16日 受入れ人数 (期間内の合計受入れ数) 2人				
受入れ条件	国語施策、外国人に対する日本語教育施策に興味・関心があること。				
実習内容	○文化審議会国語分科会等,各種会議における資料の作成及び会議開催の準備等に関する業務を行う。○事業等に関する連絡調整等の業務を行う。○事業に係る精算業務等を行う。○現在の国語施策,外国人に対する日本語教育施策の概略を学ぶ。				
受入れ局課室紹介	国語課は、国語の改善及びその普及に関することや外国人に対する日本語教育に関することを主に所掌しています。 国語の改善等に関する取組は、文化審議会国語分科会が中心となって検討を行い、様々な改善を図ってきました。具体的には、国語の表記に関して、一般の社会生活における「目安」又は「よりどころ」として、「常用漢字表」「現代仮名遣い」「外来語の表記」などを定めています。近年の取組としては、平成19年2月の「敬語の指針」(答申)、平成22年6月の「改定常用漢字表」(答申)、平成28年2月の「常用漢字表の字体・字形に関する指針」(報告)などがあります。 外国人に対する日本語教育に関する取組は、文化審議会国語分科会に日本語教育小委員会を設置し、様々な課題についての検討などを行うとともに、「生活者としての外国人」のための日本語教育事業を展開し、地域における日本語教育に関する優れた取組の支援、日本語教育の充実に資する研修及び調査研究を実施しています。				
受入れ局課室からの ひと言	国語課の業務に関心があり、意欲のある積極的な方の参加を歓迎します。				
過去の参加者の声	とても活気のある職場だった。会議の準備と傍聴やデータ入力、職員へのインタービュー等、幅広い体験 をさせて頂き、国家公務員として働くイメージをつかむことができた。				
受入れ局課室名	文化庁 文化財部 伝統文化課				
募集学校種	○ 大学院 ○ 大学 短期大学 高等専門学校 □ 専門学校 □ 高等専修学校 □ 高等専修学校 □ 10 わない (○がマークされている部分が希望学校種となります)				
受入れ期間	7月11日~7月22日 (上記期間中で1人につき、2週間) 受入れ人数 (期間内の合計受入れ数) 1人				
受入れ条件	・パソコン(メール、ワード、エクセル等)の基本操作ができること。				
実習内容	・文化財保護行政の総論(組織、法令、予算等)の学習 ・伝統文化課の所掌事務(無形文化財等の保護、助成事業、普及広報、国際交流等)の学習 ・文化財調査官の調査への随行、施設等機関の見学				

伝統文化課は、無形文化財、民俗文化財、文化財保存技術の保護に係る業務のほか、文化財愛護に 関する普及啓発、文化財情報のデータベース化、文化財保存・活用のための助成事業、ユネスコ無形文

実習においては、各担当官からの業務説明のほか、文化財情報のデータベース化の作業補助や、文化

同じ課のなかでも様々な担当者の方のお話をマンツーマンでお伺いする機会をいただいた。自分の疑問をベースにした質問にも的確に答えて頂いた。省外に出る機会も多く、実際に現場を見ることで、業務をよ

財の専門家である調査官が行う現地調査への随行、施設等機関の見学等を予定しています。

文化財の保護に興味・関心があり、学習意欲のある方を歓迎します。

3

化遺産の推薦等の業務を担当しています。

り深く理解することができた。

受入れ局課室紹介

受入れ局課室からの

ひと言

過去の参加者の声

受入れ局課室名	文化庁 文化財部 美術学芸課			
募集学校種	O 大学院 O 大学 O 短期大学 O 高等専門学校 O 専門学校 高等専修学校 高等学校 中学校 問わない (Oがマークされている部分が希望学校種となります) (Oがマークされている部分が希望学校種となります)			
受入れ期間	7月25日~ 8月 5日 (上記期間中で1人につき、~2週間) 受入れ人数 (期間内の合計受入れ数) 1人			
受入れ条件	特になし			
実習内容	美術学芸課では、以下のような様々な業務を行っています。 具体的な業務内容は、参加者の希望等を考慮して計画しますので、以下に記載した美術学芸課の業務の中から、希望する業務とその理由を学生・生徒調査票に記入してください。			
受入れ局課室紹介	【美術学芸課の業務】 〇美術工芸品(建造物以外の有形文化財)の保存及び活用に関すること 〇文化施設のうち美術館及び歴史博物館に関すること ・地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業に関すること ・美術館・歴史博物館における学芸員等の研修の実施に関すること ・独立行政法人国立文化財機構に関すること など			
受入れ局課室からの ひと言	美術学芸課の業務に関心があり、意欲ある積極的な方。特に将来美術館及び歴史に関する博物館に勤務することを考えている方の参加を歓迎します。			
過去の参加者の声	一つの業務を行うにあたり、これが何の業務でどういう意味をもって行われているのかを説明して頂いたので、目的意識をもって業務を行うことができた。会議や打合せに随行させて頂き、普段お話を聞くことのできない方のお話を聞き、視野が広がった。			
受入れ局課室名	文化庁 文化財部 記念物課			
	O 大学院 O 大学 O 短期大学 高等専門学校 専門学校			

受入れ局課室名	文化庁 文化財部 記念物課			
募集学校種	〇 大学院 〇 大学 〇 短期大学 高等専修学校 高等学校 中学校	高等専門学校問わない	専門学校	
受入れ期間	7月 25日~ 8月 26日 (上記期間中で1人につき、1~2週間)	受入れ人数 (期間内の合計受入れ数)	1人	
受入れ条件	文化財に興味のある者。 (外国人留学生受入も可としますが、業務は日本語で行います。)			
実習内容	当課の所管している業務を幅広く経験していただきます。主な実習内容は次のとおりです。 ・事務作業の補助 ・各種会議等への出席 ・文化財研究施設等の見学など			
受入れ局課室紹介	当課は、文化財(史跡・埋蔵文化財・天然記念物・名勝・文化的景観)の保護や整備に係る指導及び 助言をはじめとして、我が国が誇る貴重な文化財をユネスコの世界遺産に登録するための業務や、 我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として認定し、ストーリーを語る上で不可欠な魅力 ある有形・無形の文化財群を総合的に活用する取り組みを支援する事業などを行っています。			
受入れ局課室からの ひと言	専門的な知識や技術は必要ありませんので、文化財に興味のある方の積極的な参加を歓迎します。			
過去の参加者の声	業務説明や業務補助だけでなく、実際に外に出て現場を見ることができ貴重な経験となった。指導担当者がとても熱心で幅広い内容について教えてもらうことができた。			